



# 議会だより

[題字] 千葉 加代子さん (奥谷行政区)

第137号

かわさき

令和2年2月1日発行  
福岡県川崎町

未来にキックオフ!!  
川崎FC Singa Cup 出場



▲モデレーションカップで優勝したメンバーたち (P12)

## 12月 定例会議

補正予算可決 (公営住宅修繕料など) ...

2

議会報告会を開催します.....

3

6人の議員が登壇 ~一般質問~ .....

4

川崎町議会ホームページ

川崎町議会 検索

QRコードからもご覧になれます▶

<http://www.gikai-kawasaki.com/>



今年度の議会だよりの表紙は、《大好き かわさき町》がテーマです。  
みんなの大好きな川崎町に関する写真のご応募をお待ちしています。

川崎町役場 議会事務局 ご持参または郵送ください

[お問合わせ] 議会事務局 ☎72-3000 内線(318・319)



# 平成30年度 川崎町立病院、業務実績の評価結果報告

- 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項……………B評価
  - 業務運営の改善及び効率化に関する事項……………C評価
  - 財務内容の改善に関する事項……………C評価
- 全体を通して、C評価が妥当と判断

平成30年度は、当期純利益△5369万円となり、3年連続の赤字決算となった。

大項目評価表(中期目標・中期計画の達成に向けた業務の5段階による評価)

S	中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
A	中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおり進んでいる。
B	中期目標・中期計画の達成に向けておおむね計画どおり進んでいる。
C	中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。
D	中期目標・中期計画の達成のためには重大な改善事項がある。



## 条例

### 臨時・嘱託職員の任用や給与体系を明確化

地方公務員法及び地方自治法の一部改正により、役場に勤務する臨時・嘱託職員の名称を「会計年度任用職員」に変更し、任用制度の明確化、給与体系を確立するための条例が制定されました。

令和2年度から会計年度任用職員の採用は、競争試験または選考によって決定し、任用期間は1年間の会計年度となります。

給与は、正規職員と同じように職種別の給料表を定め、学歴、経験年数に応じて支給されます。

また、常勤職員と同じように、旅費や通勤手当、期末手当が支給され、常任職員と同じ勤務時間のフルタイム職員には退職手当も支給されます。

## 令和元年度 一般会計(第3号)補正

### 公営住宅修繕料など可決

歳入歳出1億270万円減 総額120億6919万円となる

歳出の主なもの

- 川崎小学校学童クラブ改築設計業務委託料…………… 221万円
  - 同和保育所の臨時職員雇用に要する経費…………… 144万円
  - 未熟児養育医療費の助成に要する経費…………… 1500万円
  - ひとり親家庭等の医療費の助成に要する経費…………… 1183万円
  - 公営住宅の修繕に要する経費…………… 4500万円
  - 中学校統合整備工事の一部を翌年度に先送りしたことによる減額…………… △2億円
- ※金額については、千円以下を四捨五入しています。



## 第12回 議会報告会



日時 **2月28日(金)**  
午後7時より

場所 **コミュニティセンター  
1階多目的ホール**

※閉会は午後8時45分を予定しています。

今回は、各常任委員会から出されたテーマについて、議会より報告を行い、参加された皆さまと意見交換を行いたいと考えております。

- 総務：防災対策
- 民生：統合中学校、子育て支援
- 建産：町営住宅、観光政策

多くの皆さまのご参加  
をお待ちしています。



託児と手話通訳  
あります。

託児を希望される方は、準備の都合上、事前に「川崎町議会事務局」までお知らせください。

☎ 72-3000 (内線318・319)

### 議会の傍聴においでください

#### 次回定例会予定

※卒業式により日程が変更になる場合があります。

- ◎ 3月3日…本会議(初日)
- ◎ 3月6日…本会議(中日)
- ◎ 3月13日…本会議(一般質問)
- ◎ 3月16日…本会議(最終日)



# 一般質問

よりよいまちづくりを  
めざして

問  
町政を

一般質問とは、定例会議において、各議員が住民の代表として、行政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。



川根 節生 議員

## 問 高齢者の安全運転を支える対策を

## 答 高齢者対策をトータル的に考える

**議員** 社会問題化している高齢者ドライバーによる事故の対策として、注目されているのが後付けできる安全運転支援装置です。全国で発生した75歳以上の死亡事故のうち、ブレーキとアクセルの踏み間違いによる事故は、操作ミスによる事故の11%を上回り75歳未満の0.7%と比べ16倍と際立っています。

国交省は7月、後付け運転装置の開発と取り付け可能な車種の拡大を要請しました。

本町としても高齢者ドライバーの安全運転を支える対策をどのように考えていますか。

**町長** 連日ニュースで高齢者の事故等が出ています。全国的にもこれらの対策をどうするかという検討がされているところですが、後付け装置以外に町全体で春夏の交通安全週間やセーフティステーション等で交通安全に対する取り組みを周知しているところではあります。

警察、安全協会などと協議しながら、安全を確保できるように考えていきたい。

ら、安全を確保できるように考えていきたい。

**議員** 後付け運転装置の価格帯は、4～10万円と安全対策としては、比較的安価で大きな選択肢になります。自治体によっては後付け運転装置の購入、設置を補助する傾向にあります。

他の自治体の取り組み内容は色々ありますが、把握できていますか。

**町長** 後付け装置に関しては、全国で23市町村が補助を行っています。県内では、うきは市が実施しています。補助の内容は70歳以上の方に対して経費の2分の1、上限が2万円程度というのが平均的な補助です。

**議員** 今後、ますます安全運転支援装置が普及すると思われます。高齢者の交通事故防止対策に非常に効果的であると思います。本町において、この後付け運転装置の設置に伴う補助をどのように考えているのか伺います。

**町長** 後付け運転装置の補助ですが、高齢者対策という意味で、いろんなことを今から実施していきたいと思っています。

後付け装置に関しては特に国も力を入れ始め、メーカーも車につける形で進んでいます。県内でも補助制度を実施しているところもあり、安全対策には有効だと実感していますが、近隣の状況や本当に有効なのか検証しまして、町として他の支援策も含めたところで高齢者対策をトータル的に考えていきたい。



## 問 ひとり親世帯支援策を問う

## 答 国の税制改正により対応



中山 信和 議員

**議員** 川崎町のひとり親世帯数は444世帯であり、平均年間就労収入は200万以下の非常に厳しい状況です。

本町にも児童扶養手当や児童手当などのひとり親世帯を支援する制度がありますが、高校卒業後の進学支援策についてどのように考えていますか。

**町長** 町には、田川市郡で条例を制定した、給付型の奨学金制度があり、就学資金として月額2万円を給付しています。その他にもいろんな全母子協による奨学金や独立行政法人日本学生支援機構等の奨学金等もござります。これらは月額2万円から4万円の給付金となっております。

**議員** 児童福祉手当等の家庭向け支援は、未婚のひとり親も受けられますが、死別、離婚に比べ税金が高くなっているだけでなく、公営住宅の家賃など負担も多くなっていると感じますが、町長の考えは。

**町長** 国会の税制改革でそういった差がないような税制大綱を来年度に向けて出していただくことが決まっておりますので、それが実施されますと、今言った問題は来年度以降はなくなると思っております。



## 問 不正受給の調査・監視について

## 答 実態調査をしている

**議員** 全国で児童扶養手当不正受給、偽装離婚が問題となっておりますが、本町における不正受給の調査・監視はどのようになっていますか。不正受給の調査は非常に必要と思いますが、調査をする職員、不正をしていない受給者にとってはかなりの負担があると感じますが、特に職員にとっては負担が大きすぎると感じていますが、どのように考えていますか。

**町長** 1年に1回現況届をだすように義務付けをしており、必要に応じて面談を行っています。不正に関する通報等がある場合は、封書で実態調査の通知を送って期間以内に役場のほうに来ていただいて、事情聴取をしています。

## 問 消防団員報酬の見直しを

## 答 委員会で検討する

**議員** 消防団員は常備の消防職員とは異なり、生業を持ちながら「自らの地域は自らで守る」という、郷土愛護の精神に基づき、消防活動を行う非常勤特別職の地方公務員です。

本町は自然災害が増える一方、実質団員不足が進んでいるのも現実です。団員確保のため、報酬手当の見直しを行う必要があると感じますが町長の考えは。

**町長** 消防団員の報酬は平成13年度に実施した町の財政健全化計画に沿って30%削減されています。27年度に現在の金額に増額していますが、他町村と比べて、川崎町の消防団報酬は低く設定されていますので、委員会等で検討し見直ししていきたいと考えております。





千葉 加代子 議員

## 問 統合中学校のスクールバスを 広範囲の利用に

答 より多くの生徒が利用できるよう再検討している

**議員** スクールバスの運行範囲と時間はどうなっていますか。

**教育長** これまで4キロ以上の生徒を対象にするとしていました

が、通学距離が遠くなる生徒のことも考慮して、より多くの生徒が利用できるよう再検討しています。安宅方面は、真崎小学校のスクールバスを活用。鷹峰中学校、池尻中学校方面はスクールバスを2台運用し、それぞれ登下校及び部活動後の送迎を予定しております。また、ふれあいバスの利用も考えています。

**議員** バス通学を希望するすべての子どもがバスに乗れるような検討をしていただけませんか。

**教育長** すべての子どもが乗るには大型バスが数台必要になりますので、対応を今後も考えていきたいと思えます。

**議員** 個別対応が必要なケースは、どのような対応をされますか。

**教育長** 個別対応の相談があった場合は、その受け入れ条件を含めて協議させていただいています。また、徒歩や自転車通学の生徒が、年度途中で怪我等又は病気等で一時的に通学できない場合は、基本的にご家庭での対応を考えています。ただ、要望があった場合は、必ず協議の場を設けるようにしております。

**議員** 永井地区では、登校時間に今でも渋滞が発生しているのに、鷹中、池中の保護者が送迎をするようになると、ますます渋滞がひどくなりますが、小学校に通学する子どもの安全対策をどのように考えていますか。

**教育長** 新しい川中の正面から、永井の生活館前を通って県道へ出る道を車道、自転車専用道、歩道と分離した約10m～11m幅の道路を整備中です。役場方面からの生徒の登下校は、この道路を利用し、永井地区の他の狭い道を通らないよう指導いたします。また、小学生向けの交通安全講習を3学期に実施し、さらに安全対策をはかります。



## 問 新しい母子健康手帳と 母子手帳アプリの導入を

答 手帳は前向きに検討、  
アプリは来年度導入予定

**議員** 一般的な母子健康手帳は6歳までの成長を記入できますが、20年を綴る母子健康手帳は

6歳以降も1歳ごとに20歳までの成長を記録する事ができます。そのため、既往症や予防接種の記録が出来て、大人になって別の病気にかかった際の治療方針を決める重要な情報として活用する事ができます。

また母子手帳アプリは、紙の母子手帳と並行して利用するサービスです。ICTを利用した新たな子育て支援策として、切れ目のない自治体サポートを実現できます。手帳とあわせて導入していただきたいのですが。

**町長** 20年を綴る母子健康手帳は、大人になってからの健康管理に役立ち、虐待防止や発達障がい等の早期発見に繋がる記載も多いので前向きに検討してまいりたい。また、子育て支援サービスとして来年度から母子手帳アプリを導入予定で、紙媒体の母子健康手帳に合わせて子育ての情報発信などを強化してまいりたい。

\*他に「ふれあいバス」「防災」「SOSミニレター」について質問しました。



手嶋 真由美 議員

## 問 便利なコンビニ納付の導入を

答 状況を見ながら対応

**議員** 納付義務者の納付方法で口座振替を利用している方は少ない現状で、期限内に収められている納付状況はどうでしょうか、平日は仕事で金融機関に時間内に行けず、休みの日は金融機関が開いてないために納付をする事ができない。コンビニでの納付を願う声をよく聞きます。本町でも便利なコンビニ納付を導入してはどうでしょうか。

**町長** コンビニを使う場合、コンビニに対しての手数料がかなりかかります。財政的な事もありますので、今のところは現在の収納方法で取り組んでいきたいと考えており、今後については状況を見ながら対応していきたい。

## 問 住民が利用しやすい 窓口の工夫を

答 今後対応を考えていく

**議員** 町民の皆さんが利用しやすいように課ごとの色分けや、課や係の色分けをするなどの工夫が出来ないものですか。

**町長** ご指摘のとおり、今後対応を考えてまいります。

## 問 イベント情報の 町民への周知の改善を

答 防災無線を通じて  
周知を万全にしてい

**議員** 川崎町では年間行事のイベントがたくさんあります。最近ではホームページ等でお知らせしているようですが、町民全体への周知はどうしていますか。

多くの町民の皆様にご存知いただくための周知方法はどうか改善していきませんか。

**町長** できるだけ広報して住民に周知することが目標であり、多くの方に参加して頂くのは、町にとっても一番いいことです。広報紙・看板・ポスター・防災無線、いろんなものを通じて住民への周知を万全にしていきたい。

## 問 自転車保険の義務化と 保険の補助を

答 前向きに検討

**議員** 本町では自転車安全に走行できる自転車優先道路の確保が出来ておらず、生徒は車の通りの多い箇所を通り学校に向かいます。

生徒の安全対策として自転車保険の加入を義務付ける必要がある

のではないのでしょうか。

**教育長** 自転車通学については、学校の許可制を取り、ヘルメットの着用・自転車保険任意保険の加入を許可条件の一つとする予定です。義務化については、再度検討したい。

**議員** 自転車保険の義務化を進めるとともに、通学の助成として、自転車保険の補助ができませんか。

**教育長** 自転車通学の助成の要望がかなりあがっており、現在前向きに検討しています。



その他「きれいな町づくりへの取り組み」「子ども議会の更なる充実」について質問いたしました。



## 問 部活に外部講師・コーチ制の導入を

## 答 外部講師等の任用等を十分考える

**議員** 来年度3校が1つになって統合中学校が開校しますが部活数は減少します。様々な要因がありますが、統合中学校の部活については外部講師やコーチ制を導入して、活性化を図ることが必要だと思いますが、教育長の考えを問います。

**教育長** 中学校統合の専門部会において、部活動のあり方について、一応の方針・答申が出ておりますが、今後は入部の増加を図りたいと考えております。

特に外部講師等の任用等を十分考えて部活の活動を活発にし、少しでも多くの部活動の充実を図れるように検討したいと現在考えております。



## 問 特別支援学校高等部の申請を

## 答 要望書の提出を考える

**議員** 中学校の統廃合に伴う池尻中学校、鷹峰中学校の廃校活用を問います。特別支援学校の高等部申請を強く望みます。

**教育長** 田川市郡内の他の市町村から、特別支援学校高等部を新設してほしいという旨の要望書が出され始めました。これに沿って川崎町としましても、早急に再度の要望書の提出を今考えております。

## 問 ICT活用施策を

## 答 対応に向けた取り組みを行う

**議員** 政府は全国の小中学校にパソコンもしくはタブレットの端末を、児童生徒に1台ずつ配置する方針を固め、2024年度までに実施を目指しています。教職員がICTを活用できるための施策を講じることが必要と考えますが、教育長の考えを問います。

**教育長** 教職員のICT研修は、昨年度または今年度に、各学校から必ず1名、または数名の教職員を県レベルで行なわれてる研修会に参加するように通達しています。



## 問 家庭教育向上の施策を

## 答 教育講演会研修を検討

**議員** 家庭は子どもが生まれ育っていくときの基盤となるものであり、家庭教育はすべての教育の出発点として大きな役割を担っています。

行政にはあらゆる面において、教育環境の醸成を進めることが求められており、家庭教育もその例外ではありません。

保護者に対する学習機会及び情報の提供その他、家庭教育を支援するための必要な施策を教育長に問います。

**教育長** 家庭教育、特に幼児教育につきましてもは一生の人格形成の基礎を培う、重要なものがあります。教育に関心のない保護者に関心を持ってもらおうとするのは、とても困難であると強く感じます。

教育講演会研修等の実施を今検討しております。



## 問 農業工事の地元負担の軽減は

## 答 他の町村を参考にし、対応する

**議員** 農業土木工事の一部負担については、昭和45年に制定された条例であり、県が4割、町が4割、地元が2割という負担割合となっています。現状では農地の維持管理ができない状況を踏まえ、半世紀経った今、条例の変更を町は前向きに検討する事を提案します。

農業の後継者は農機具や肥料を購入するのが精一杯で、もう米は作らなくて良いなどの考えを持つ者も増えており、周辺の農地に迷惑をかけない為、溝掃除なども行っていますが、高齢者の方々には重労働であります。地元も、汗をかいております。町長の考えを尋ねます。

**町長** この条例の制定された当時は、米60キロ当たりが1万8千円程度の販売価格でしたが、現在、1万2千円程度まで米の価格が落ちており、また農家の高齢化に伴って人手不足、後継者不足等が発生し、農業を続けられない農家が増えて、耕作放棄地、遊休農地が増加している状況です。今後の町の農業振興を考えると、地元の負担割合については他の町村を参考にし、近郊の負担割合を見ながら、対応を積極的に考えてまいりたい。

**議員** TPPやFTAなど、貿易の自由化を図っていくなかで、米の自由化は永久に認めないということですが、この先どうなるかはわかりません。町長に提案をしたいのは、そういったことを見据えた中で農地の集約化を促進し、町の基本計画において、10年後20年後に町の基幹産業となり得る農業政策を今打ち立てて、その基本計画に基づいて邁進することだと思います。

米を真剣に作っていけば、農業は儲かるということで、川崎町の農業が基幹産業となり、若者も定着をして、川崎町の米はおいしいということになれば、さらに利益が上がるというかたちになってくるはずなんです。

これをやっていくにはかなりの労力も必要でしょう。誰かがやらなくてはいけないんですが、このままであれば農業は減るということはもう目に見えております。

農業基本計画をつくり、農業の集約を果たせるようお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

**町長** 川崎町の農業、農家を守る施策というのは農家の担い手不足高齢化が進む中で、その作業ができないということが現実にあるわけで、先ほどの負担割合もそういった中で考え直さなければいけないというのを実感しているところです。

今言う農地の集約化についても、これが先ほどの問題点を解決できる唯一の方向性ではないかと思えます。川崎町の農業を守るためには、集約した中での農業を行っていかねばいけないということで、現在は人・農地プランの実質化に向けても、担当課と一緒に協議を詰めているところです。将来的にも地区営農組合等を設立して、農家や農地を守ること。農業経営が可能な農地を集約して、若い方たちが農業という職業に就きやすいように考えていきたいと思えます。

川崎町を発展するためには、教育と観光と農業ということも私は常々言ってますので、積極的に取り組んでまいりたいと考えております。



# もっと知りたい 委員会レポート

委員会の活動状況を報告します



議会では年4回の定例会の休会中は、それぞれの委員会に分かれ、所管の現地調査や机上審議をしています。



## 総務常任委員会

### 先進事例を視察(北海道)

#### 地域ポイントを活用した地域活性化(苫小牧市)

イオンのワオンカードを活用し、市内加盟店での買い物、市のイベントへの参加、健康増進施設の利用、議会の傍聴によってポイントを貯め、その貯まったポイントを市内の加盟店で使うことで、地域経済の活性化につながっています。

#### テレビ電話を活用した緊急情報伝達(喜茂別町)

喜茂別町では光ケーブルを活用したテレビ電話を全世帯に設置し、緊急情報や行政情報の発信をしています。防災行政無線のように聞こえない地域が発生せず、目や耳に障がいを持つ方にも音と文字で確実に情報を伝えることができます。



## 建設産業常任委員会

### 豊州団地・大峰団地を現地調査

新築6階建ての2団地に行き、間取りや日当たり、風通しなどを確認し、入居の順番についてなどの説明を受けました。

バリアフリー化やエレベーターの設置など、高齢者にやさしい団地になっていました。

### 有害鳥獣への対策を確認

金網や電気柵で山からの侵入を防ぎつつ、猟友会に捕獲してもらい絶対数を減らしているそうです。

委員会からは、捕獲後の動物をジビエ料理と

### 「住むことが誇りに思えるまち」づくり(ニセコ町)

ニセコ町では「情報共有」と「住民参加」を基本原則とした「まちづくり」を進めることによって、住民のまちづくりへの関与を促す仕組みが定着していました。

### 第6次川崎町総合計画の策定状況を調査

まちづくりの基本指針である第6次川崎町総合計画は、住民アンケートやワークショップ等の意見を参考に、令和2年6月までに策定する予定です。

### 町職員の適正数を継続して調査

各種資料に基づき、説明を受けましたが、職員の適数配置については、簡単に結論が出る問題でないため、今後も引き続き調査を行うことにいたしました。

して活用できないか等の意見が出ましたが、現状では難しい状況であるとの回答でした。

他、長雨による農作物の被害状況についても担当課より説明を受けました。

### 先進事例を視察(長野県、群馬県)

長野県飯島町で地域複合営農の取り組みと、群馬県草津町でまちづくり・観光政策について学んできました。

農業も観光もどの分野においても10年後20年後、子や孫の世代など将来につながる、一時的で終わらない取り組みが重要だということを再認識しました。



## 民生文教常任委員会

### 今春開校予定の統合中学校

実際に建設中の校舎のなかに入り、工事の進捗状況や現状の確認を詳細に行いました。内装については、まだ施工途中でありましたが、順調に工事が進んでいることが確認できました。

校舎の工事については、今年2月下旬に引き渡し予定であり、運動場と外構関係などの整備は、今年度末から取り掛かる予定であるそうです。

女子の制服については、既存のスカートのほかにキュロットスカートも認めることとしたこと、体育館シューズについては、メーカーとモデルを指定して、購入方法は指定しないこととなったとの報告がありました。この体育館シューズについては、委員会から保護者負担を出来るだけ減らすための提案をしました。

### 先進事例を視察(沖縄県)

恩納村では、今年春に開校する統合中学校におけるスクールバスの運行について、浦添市では、小学校でのICTを活用した授業や英語教育の取り組みについて、沖縄産業開発青年協会にて、組織の概要と協会の取り組みについて、それぞれ研修視察を行いました。



### その他の所管事務調査

そのほか、愛光園についての現状調査や保育料無料化に伴う町内の認可保育園の状況についての調査なども行いました。

## 令和元年度 第7回川崎町議会(12月会議)

### 議案一覧と賛否結果

区分	案件名	内容	賛否の結果													
			中	北	小	手	川	手	松	繁	見	寺	千	樋	松	大
			山	代	田	真	根	田	永	月	田	葉	原	口	岡	谷
報告	地方独立行政法人川崎町立病院の平成30年度に係る業務実績に関する評価結果について	P 2を参照	報告のため採決はありませんでした													
条例	川崎町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	P 2を参照	(可決)簡易表決													
	川崎町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	人事院の勧告に伴い、一般職の職員の給料表を改定するもの	(可決)簡易表決													
	川崎町立小、中学校設置条例の一部を改正する条例について	統合中学校の開校に伴い、現在の条例内の中学校の名称と位置を変更するもの	(可決)簡易表決													
	川崎町学校給食センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	統合中学校の開校に伴い、給食センター運営審議会の委員の人数を7名から5名に変更するもの	(可決)簡易表決													
補正予算	令和元年度川崎町一般会計補正予算(第3号)について	P 2を参照	(可決)簡易表決													
	令和元年度川崎町学校給食センター特別会計補正予算(第2号)について	給食調理及び配送業務の債務負担行為の補正	(可決)簡易表決													
	令和元年度川崎町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)について	電算システムの改修に要する経費の補正	(可決)簡易表決													
請願	池尻中古墳(仮称)発掘調査推進に関する請願書	池尻中学校の運動場の発掘調査推進について町に働きかけをするよう請願するもの	継続調査													

賛否表の表示は、○…賛成、●…反対、◎…欠席、⊕…退席となっています。  
 ※簡易表決とは…あらかじめ議員全員の賛成が見込まれる場合に、議長が賛成者の起立を求めず「異議ありませんか」と諮ることにより可否を問う採決方法です。  
 ※賛否同数の場合は議長が可否を決します。

